

せいだいえんかんさつ 生態園観察マップ

い み * * 行ってみよう見つけてみよう * *

そうしゅんへん 早春編

季節のできごと ・ 雑木林の落葉樹の葉が落ち、生態園全体の見通しがよくなっています。バードウォッチングはいかがでしょうか。ヒヨドリ、ツグミ、シジュウカラ、メジロ、アオサギ、カルガモ、カシラダカ、カワラヒワ、シメ、コゲラ、ウグイスなどを観察されています。
 ・ 少しずつ、早春の草花が咲き始めました。

チーチーチュルチュル
チューチュルチュル



*メジロ

かじゅえん
*果樹園 (モモ)



ホトケノザ

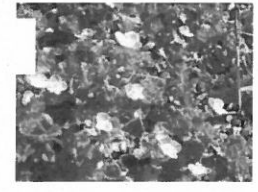
しるし くら せつめい
* 印については、裏に説明があります。
さんこう くだ
参考にしてみてください。

てんぼうしつ
展望室



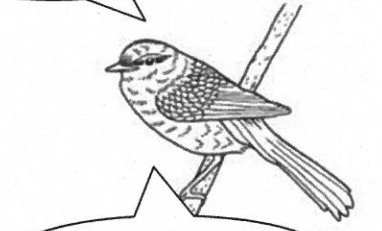
ツクシ (スギノコ)

オオイヌノフグリ



ホーホケキョ

チャッチャ



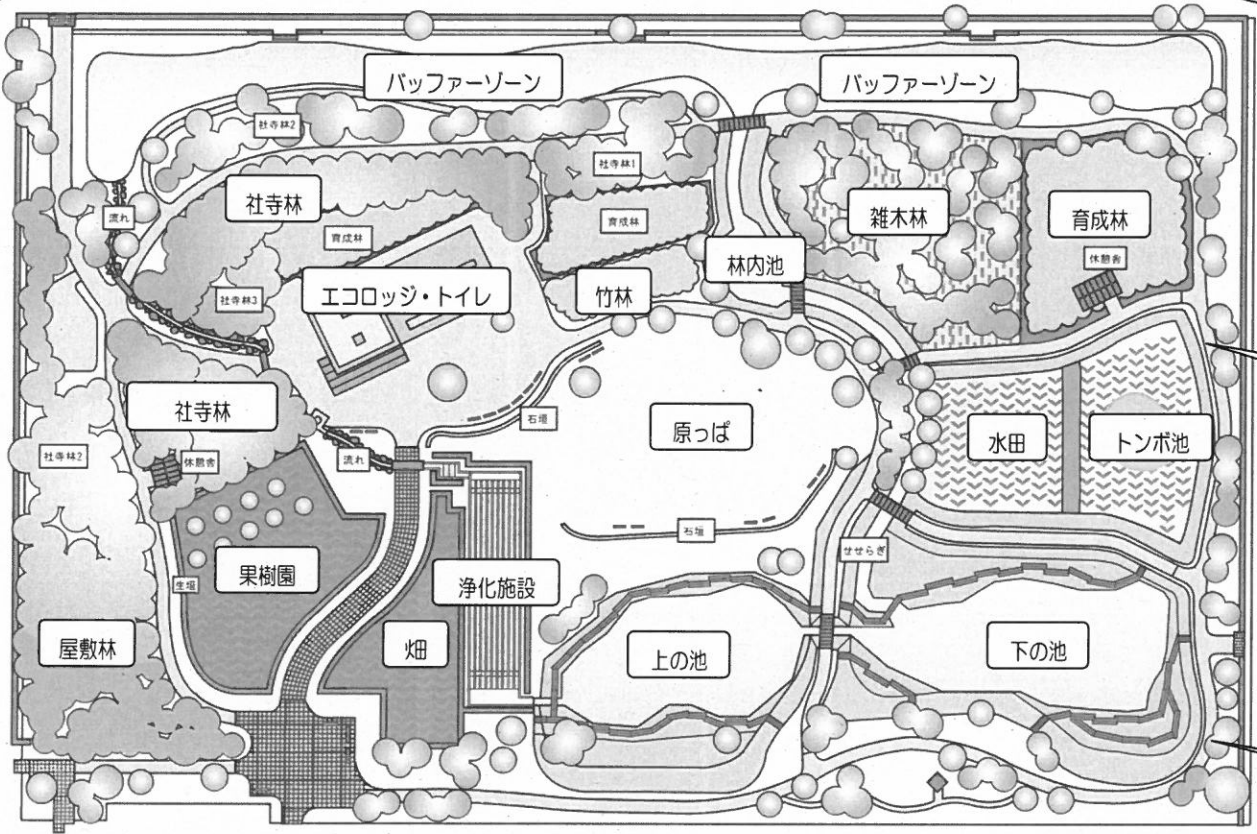
ケケケキョケキョ

*ウグイス

はな おぼな めぼな
ハンノキの花 (雄花・雌花)



*コブシ



メジロとウグイス

メジロの体は、きれいな黄緑色で、目の周りにアイリングと呼ばれる白い輪があるのが特徴です。
 体調は12 cm 前後で、野鳥の中では小さい部類です。

ウグイスは背中が茶褐色、腹面は淡い灰色で尾羽が長めです。体長は15 cm 前後です。

「ウメにウグイス」と取りあわせのよいものとして言われますが、実際は梅の木にとまることは少なく、メジロと混同されているようです。

写真は、生態園の桃の木にとまるメジロです。

メジロは甘いものが大好きです。冬から早春にかけて花を咲かせるツバキやウメ、サクラなどの花蜜をなめにきます。

ウグイスは虫や木の実を食べ、花蜜はあまり吸いません。

ウグイスは縄張り意識と警戒心が強いといわれています。普段は竹藪の中において、人前に姿を現すことはめったにありません。



「ケキョ、ケキョ、ケキョ、ケキョ」(谷渡り)、「チャッチャ」(笹鳴き)という鳴き声は警戒しているとき、「ホー、ホケキョ」と目立つ場所に出てきて鳴くのは「高鳴き」と呼ばれオスだけです。縄張り宣言と考えられています。春告鳥とも呼ばれ、さえずりが美しい日本三鳴鳥のひとつとされています。

果樹園

この時期、果樹園ではユズや夏ミカンが目立ちます。柑橘類はアゲハチョウの幼虫の食草になります。また、ビワの花が12月～2月頃に咲き、実がなりはじめました。

これからウメ、モモ、ナシなどが順に花を咲かせ、実りの季節へと進んでいきます。

果樹園の前面に、平成12年にセンターがオープンした際の記念樹、ヤマザクラがあります。

ヤマザクラは日本に自生するサクラの代表格で、京都の嵐山や奈良の吉野山などが有名です。

3～4月頃、開花とほぼ同時期に赤みを帯びた若葉を開くのが特徴です。花は3 cm 程度で、白色が基本ですが、薄緑色、薄桃色などもあります。ヤマザクラは自然に変異した木ごとの個性があり、花の咲く時期や色合いなどに個体差があるといわれています。

これに対して、ソメイヨシノは、エゾヒガン系のサクラとオオシマザクラの交配で生まれた園芸品種で、もとは1本の木であることから、地域ごとにほぼ同時期に花を咲かせるそうです。

コブシ

コブシはモクレン科の落葉広葉樹の高木です。

3月～4月にほかの木々に先駆けて直径7～10 cm

の白い花を梢いっぱい咲かせます。

花と枝葉はレモンのようなよい香りがして、開花と同時に花の下に小型の葉がひとつひらきます。

この葉があることでモクレンと見分けがつきます。早春に花をたくさん咲かせる姿が遠目にはサク

ラのように見ると、北海道や東北地方では、農作業を始める目安とされ「田内桜」と呼ばれていました。

コブシという名前の由来は、つぼみの形が幼児の掌に似ているからや、10月頃熟す果実が集果でゴツゴツとして、にぎりこぶしのように見えるからなどといわれています。

